

## 付録14 メッセージ分割手順

本手順は未提供です。

このオプション手順は、ユーザと網の双方の同意に基づいて使用されます。

### 1. 概要

データリンクレイヤがサポートできるフレームの長さよりも長いレイヤ3メッセージは、複数のセグメントに分割することができます。

メッセージ分割はメッセージの長さがN201を超えた場合にのみ使用できます。

他のレイヤ3機能に対するアーキテクチャ上の関係を付図1に示します。これらの手順は特定のデータリンクコネクション内でのみ適用され、他の並列のデータリンクコネクションにおける処理手順には影響しません。

1000オクテットまたはそれ以上の長さのメッセージを必要とするアプリケーションをサポートするための手順は、今後の課題です。これらの手順は、バックワードコンパティビリティと、情報を長メッセージのセグメントを用いて複数の呼番号でインタリーブさせる方法を検討しています。これらの手順の詳細は今後の課題です。

### 2. メッセージ分割

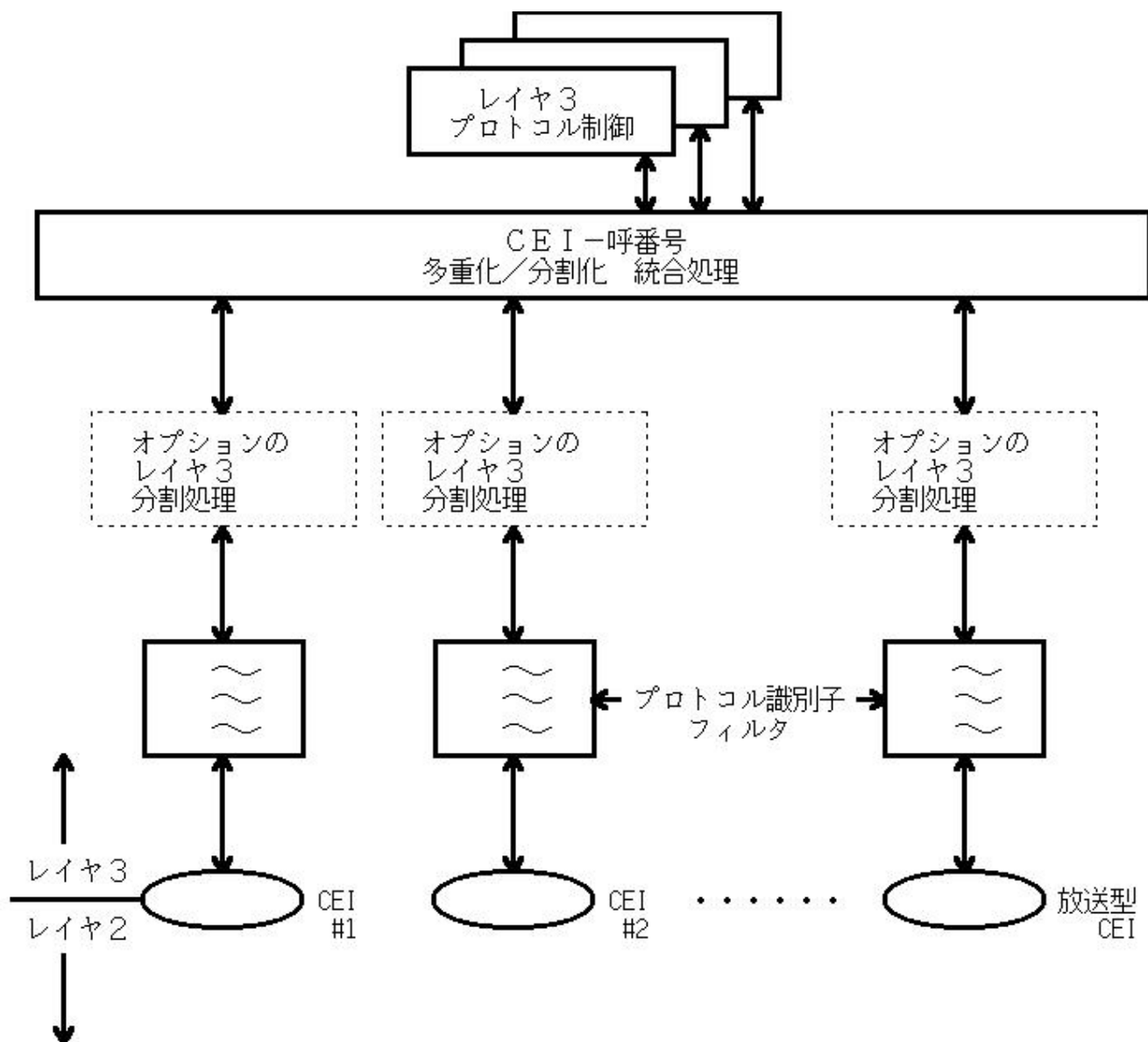
以下の規定は、レイヤ3メッセージが送信のために分割される時に適用されます。

- (1) メッセージセグメントの最大数のデフォルト値は8です。メッセージが長すぎて分割できない場合は、ローカルな保守動作が通知されます。
- (2) 第1メッセージセグメントは“プロトコル識別子”情報要素で始まり、直ちに“呼番号”情報要素、分割メッセージ種別、“分割メッセージ”情報要素、及び分割されるメッセージのメッセージ種別に続く最初のオクテットから始まるオクテットが続きます。条件としてはセグメントの最大長がデータリンクレイヤ情報フィールドの最大サイズを超えないことです。
- (3) 後続する各メッセージセグメントは、“プロトコル識別子”情報要素で始まり、直ちに“呼番号”情報要素、分割メッセージ種別、“分割メッセージ”情報要素、及び一個または複数の分割されるメッセージのメッセージ種別に続く最初のオクテットから始まる1または複数のオクテットが続きます。条件としては、セグメントの最大長がデータリンクレイヤ情報フィールドの最大サイズを超えないことです。
- (4) “分割メッセージ”情報要素の第1セグメント表示フィールドは、分割メッセージの第1セグメントであることを表示する様に設定され、他の任意のセグメントには設定されません。
- (5) “分割メッセージ”情報要素の残りセグメント数フィールドは、送信されなければならない残りのセグメントがいくつあるかを表示する様に設定します（付図2参照）。
- (6) “メッセージ種別”情報要素は、分割メッセージを表示する様にコード化されます。また“分割メッセージ”情報要素は元のメッセージのメッセージ種別を表示します。
- (7) 分割メッセージの送信は、異なった呼番号を含むメッセージまたはメッセージセグメントの送出、「分割メッセージ」にコード化されていないメッセージ種別を持つメッセージの送出、または同一メッセージに関係する後続するメッセージセグメントの送信の停止により、中止することができます。
- (8) いったん特定のデータリンクコネクションで第1セグメントが送信されたならば、そのデータリンクコネクションで他の任意の呼番号に対する他の任意の（分割）メッセージが送信される前に、送信中のメッセージの残りのセグメントが、全て（順序正しく）送信されなければなりません。
- (9) 分割メッセージのオクテットの順序は、セグメントの境界とは関係なく保存されます。

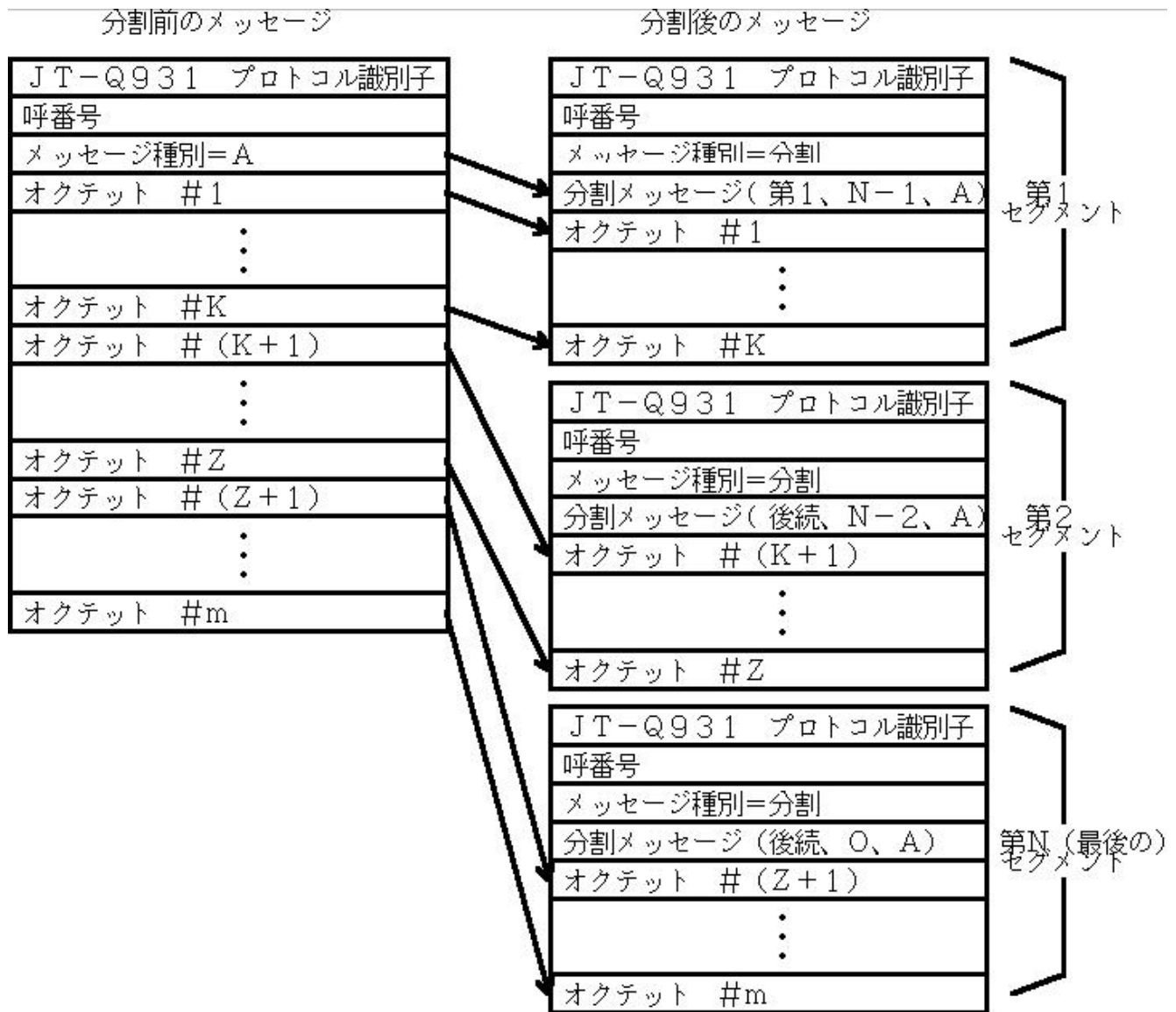
### 3. 分割メッセージの再組立

以下の規定は分割されたレイヤ3メッセージの受信と再組立に適用されます。

- (1) 再組立機能は、「第1セグメント」を表示する第1セグメント表示を持つ“分割メッセージ”情報要素、そして、呼番号、(「分割メッセージ」にコード化された)“メッセージ種別”情報要素を含むメッセージセグメントを受信したとき、「分割メッセージ受信中」状態に入り、メッセージセグメントを蓄積します。
  - (2) タイマT314は、残りセグメント数フィールドがゼロでない“分割メッセージ”情報要素を含むメッセージセグメントを受信したとき、起動または再起動されます。タイマT314は、最後のセグメント、すなわち、残りセグメント数フィールドがゼロにコード化された“分割メッセージ”情報要素を含むメッセージセグメントを受信したとき停止します。タイマT314は、下記に特定化される規定によるエラー手順が開始されたときに、起動または再起動されてはなりません。
  - (3) 再組立機能においては、“分割メッセージ”情報要素を持つメッセージセグメントの受信は、メッセージを更に5.8節に規定されたエラー状態の処置を行う前に、同じメッセージに関する最後のメッセージセグメント(すなわち、残りセグメント数フィールドがゼロにコード化された“分割メッセージ”情報要素を含むセグメント)を待つべきです。そして、再組立機能は「空」状態に入ります。
  - (4) タイマT314のタイムアウトにおいて、再組立機能はそれまで受信されたこのメッセージの全てのセグメントを破棄し、メッセージセグメントが損失したことをデータリンクコネクションに対するレイヤ3マネジメントに通知し、「空」状態に入ります。
- (注) 同一メッセージに関する後続のメッセージセグメントは、規定(6)に従って破棄されます。
- (5) 再組立機能は、“分割メッセージ”情報要素の残りセグメント数フィールドがゼロにコード化されたメッセージセグメントを受信しないで同一分割メッセージの8個のメッセージセグメントを受信したとき、それまでに受信した全メッセージセグメントを破棄し、メッセージセグメントが損失したことをデータリンクコネクションに対するレイヤ3マネジメントに通知し、「空」状態に入ります。
- (注) 同一メッセージに関する後続のメッセージセグメントは、規定(6)に従って破棄されます。
- (6) 再組立機能は、「空」状態において、“分割メッセージ”情報要素を含むが呼番号またはメッセージ種別情報要素を含まないメッセージセグメントを受信したとき、そのメッセージセグメントを破棄し、「空」状態を維持します。
  - (7) 「分割メッセージ受信中」状態において、再組立機能が“分割メッセージ”情報要素を含むメッセージセグメントを受信したとき、残りセグメント数フィールドが前のメッセージセグメントの分割メッセージ情報要素の残りセグメント数フィールドからデクリメントされていない場合は再組立機能はそれまで受信したこのメッセージの全セグメントを破棄し「空」状態に入ります。
- (注) 同一メッセージに関する後続のメッセージセグメントは、規定(6)に従って破棄されます。
- (8) 「分割メッセージ受信中」状態において、DL-解放-表示またはDL-設定-表示が受信されたならば、再組立機能はそれまで受信した全メッセージセグメントを破棄し、DL-解放-表示またはDL-設定-表示プリミティブに対して更にJT-Q931処理をするために、これらのプリミティブを転送し、「空」状態に入ります。
  - (9) 再組立機能は、「空」状態において、“分割メッセージ”情報要素の第1セグメント表示が、「後続」を表示するメッセージセグメントを受信した場合、そのメッセージセグメントを破棄し「空」状態を維持します。

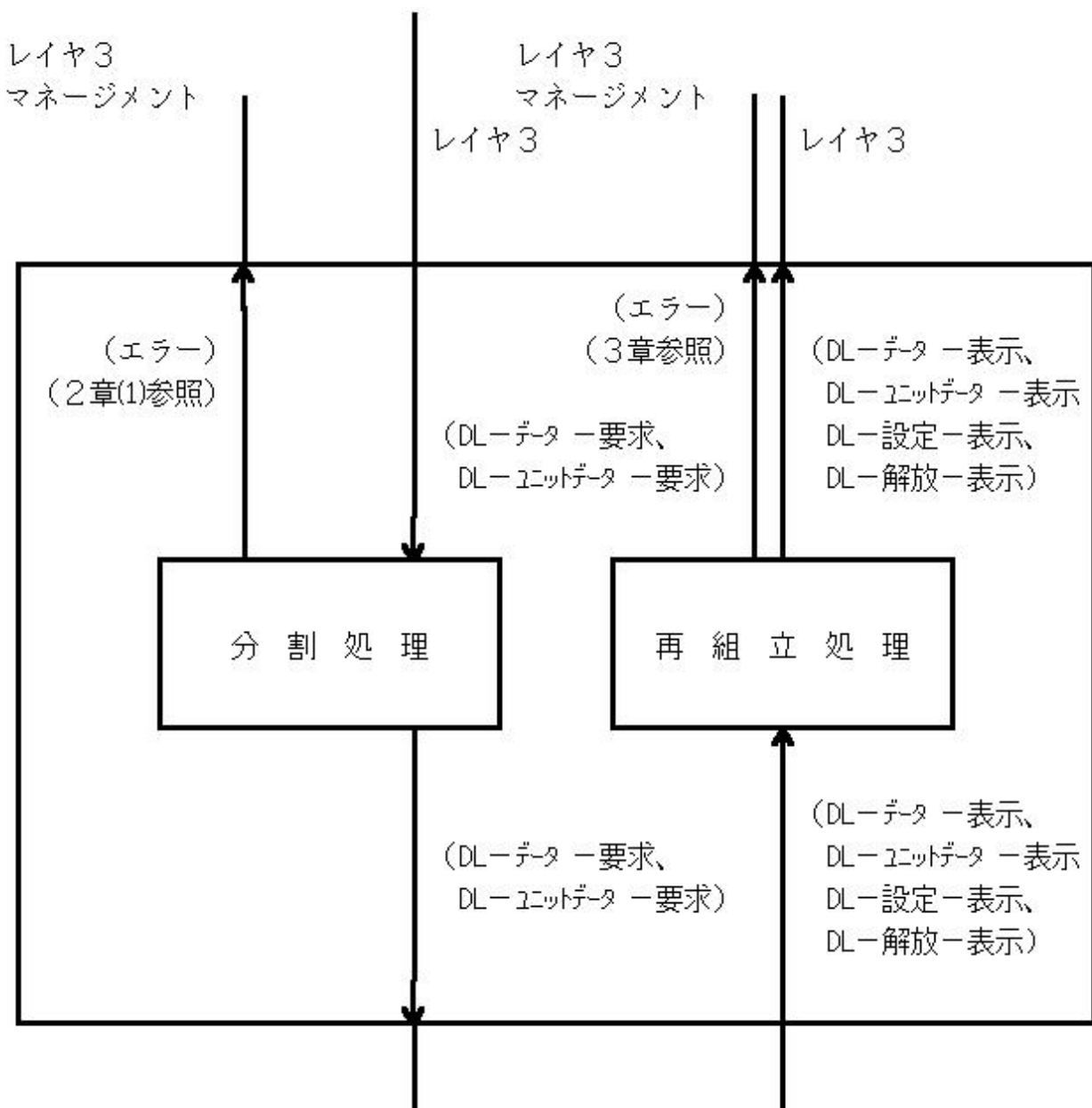


付図1 分割機能を含む論理構造

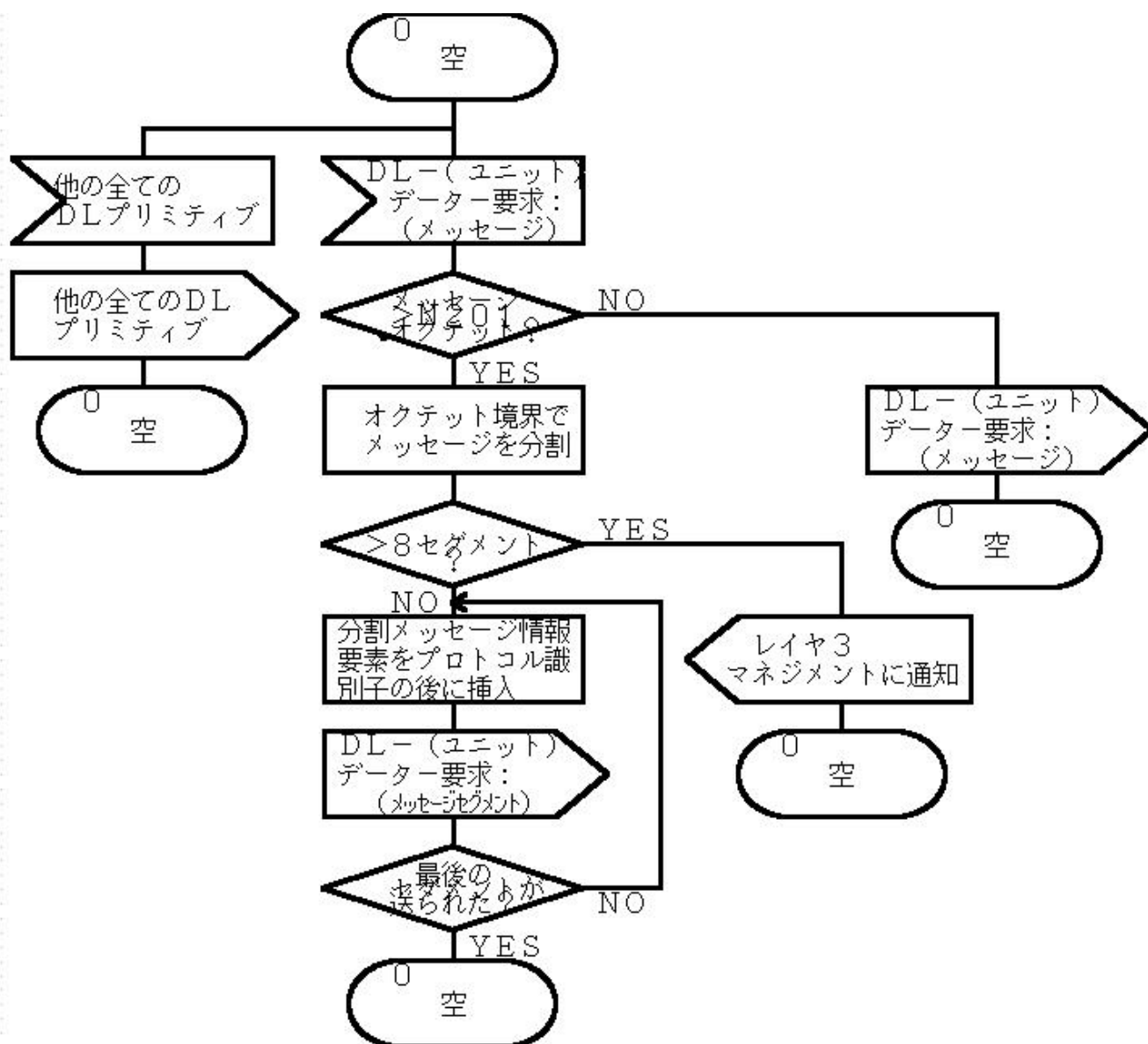


(注) 分割は、任意のオクテットの境界で行われます。

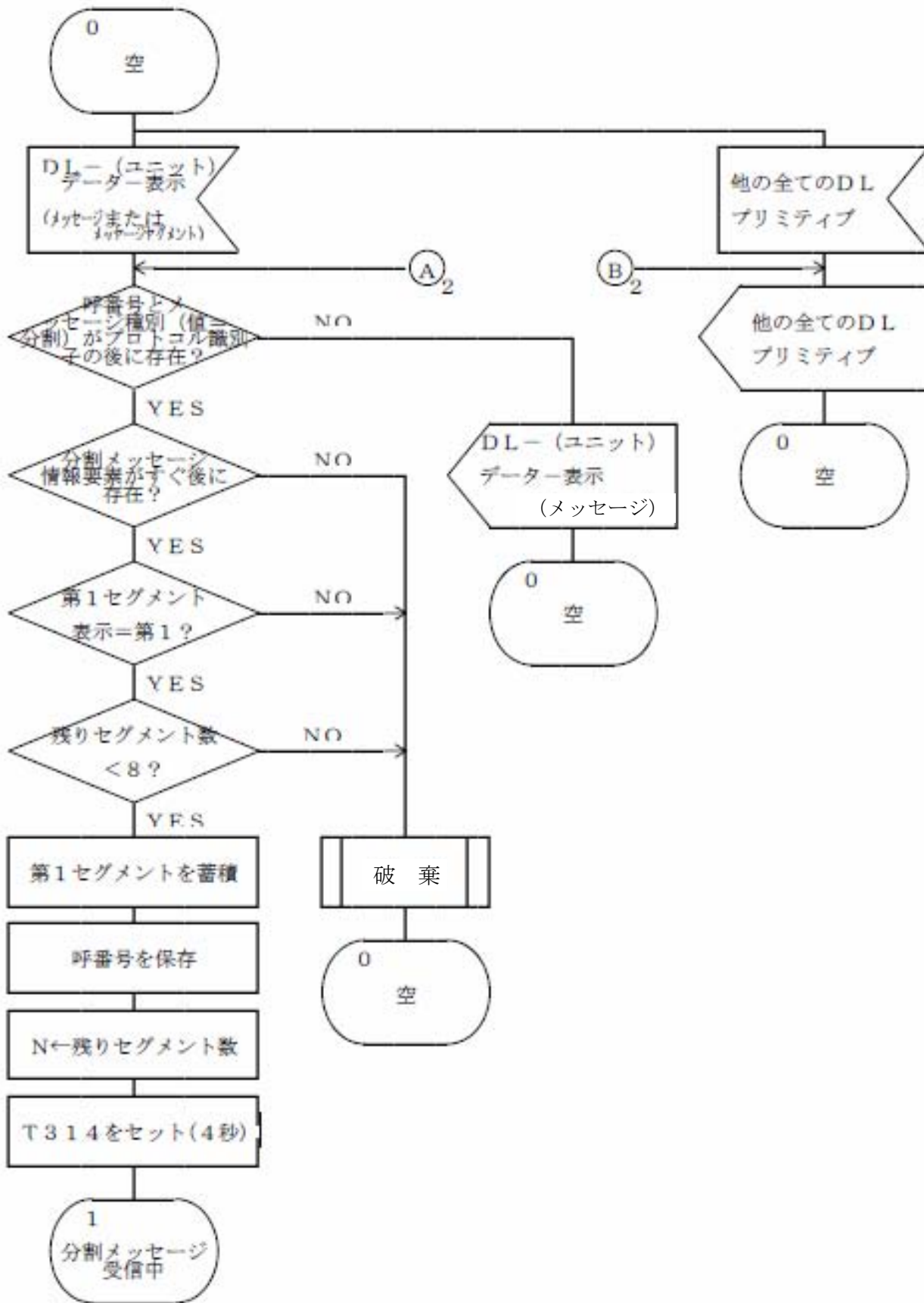
付図2 メッセージとセグメントの関係



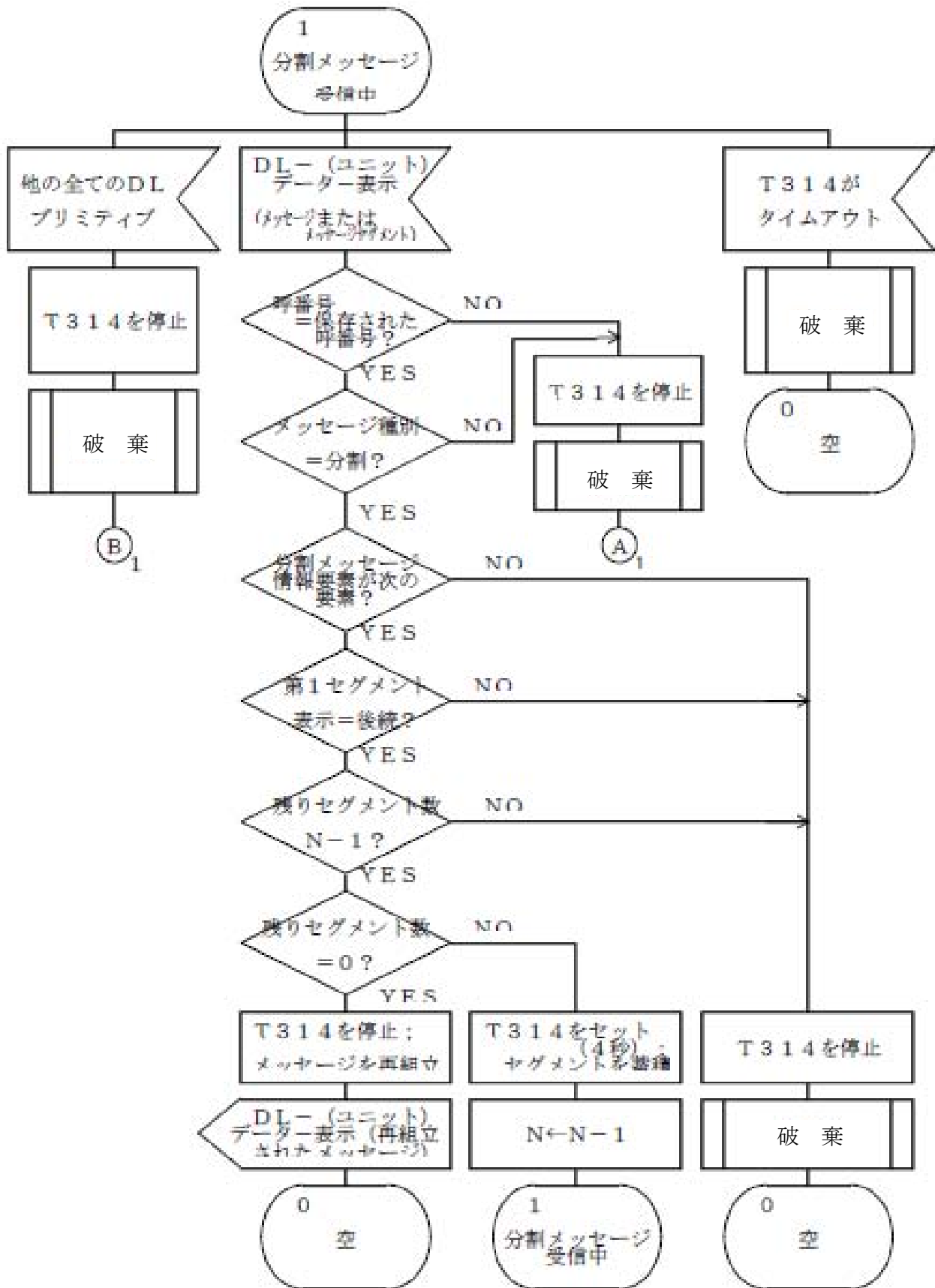
付図3 分割機能相互作用図



付図4 メッセージ分割処理SDL



付図5 メッセージ再組立処理SDL (1/3)



付図5 メッセージ再組立処理SDL (2/3)





付図5 メッセージ再組立処理SDL (3/3)